

トップメッセージ



代表取締役社長 社長執行役員

水戸信彰

イノベーティブな技術で社会課題を解決し 世界の持続可能性に貢献する

現在、私たちを取り巻く社会はますます変化が激しく、不確実性を増しています。世界の人口は増加の一途をたどり、気候変動に加え、生物多様性・自然資本の回復などの地球規模の課題も深刻さを増しています。AIの進化や技術革新といった急速な進歩も、私たちに新たな可能性と同時に新しい挑戦をもたらしています。

このような状況下で「化学」は、人々の生活を支える「基盤」となり得ると同時に、新しい価値を創造するための「エンジン」にもなり得ます。「化学」には、持続可能な経済、社会、環境を実現するための無限の可能性があるのです。

住友化学は、その発足時から、社会課題に技術で向き合ってきた歴史を有しています。銅の製錬過程で発生した煙害を克服するため、硫化鉱から硫酸を製造し、その硫酸を原料として肥料となる過磷酸石灰を生産したという成り立ちは、当社のDNAに刻まれています。この「自利利他 公私一如」(住友の事業は、住友自身を利するとともに、国家を利し、かつ社会を利するものでなければならない)の精神を受け継ぎ、その時々社会課題に応える製品・技術を創出することで挑戦を続けてきました。

そして現在、当社は、社会課題をイノベーティブな技術で解決する「Innovative Solution Provider」を長期的に目指す企業像とし、取り組むべき社会課題を「食糧」「ICT」「ヘルスケア」「環境」分野と定め、4つの事業部門にて取り組みを進めています。

なかでも「環境」については、気候変動の緩和と適応、資源循環への貢献、自然資本の持続可能な利用の分野で貢献する当社グループの製品・技術を「Sumika Sustainable Solutions®(SSS)」として認定・推進する取り組みを進めています。このSSSはすでに開始から10年を迎え、認定製品・技術の売上収益は2025年度には5,556億円(全売上収益の24%)に達しています。

当社は今後とも、持続的な成長に向けてサステナビリティ推進の重要課題に尽力していくとともに、「Innovative Solution Provider」へと着実に進化を遂げ、企業価値の一層の向上を実現していくことで、すべてのステークホルダーの皆さまのご期待にお応えしてまいります。

引き続き、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。